

地域と学校の 協働通信

令和5年10月4日
武蔵野市教育委員会
指導課教育推進室
第13号

特集

- モデル校第4回協議会の報告
- 新規地域コーディネーター紹介③
- 地域コーディネーター連絡会の報告

学校運営協議会機能を有する開かれた学校づくり協議会(モデル校)の報告 「できること」に向けて動き始めています!!



第一中学校 第4回協議会

第5回は、10月13日(火)
午後3時から

前回の協議を受けて、協議会として先生方のニーズ等を把握するアンケートを作成・実施・集計しました。今回は、その結果を見ながら、3つのグループで「すぐできそうなこと」「中長期的に実施したいこと」という視点で協議しました。

中学校で大きな話題になる部活動などは、先生ごとに思いの違いもあり課題解決は容易ではありませんが、部活動の際に生徒の見守りを行うことや、今は先生方が行っている英語検定・漢字検定の事務を地域に移行することはできるのではないかと、まずは、部活動や各検定の様子を見学しよう、活動に協力してくれそうな人を各委員で探してみよう、ということになりました。

次回は、実際の部活動や漢字検定の様子を見学する機会を設け、改めて協議会を実施します。



グループ協議の概要を報告しています



境南小学校 第4回協議会

第5回は、10月23日(月)
午後6時30分から(予定)

境南小では、これまでの3回の協議会の記録を中心に、保護者・地域等に配布する「協議会だより」を作成しました。

さて、今回は、児童の「行きたくなる学校」アンケート結果を踏まえて、「地域・学校でできること」を熟議する際に、児童が使用している学習者用端末のあるグループの熟議のまとめです。市で発行している「学校支援協力者リスト」の「境南版」を作ってはどうか、など積極的な意見が出されました。

また、校長先生からは、学校運営協議会機能で可能となる「教員公募」で境南小に招きたい教員像について委員さんの意見を踏まえた提案がありました。



あるグループの熟議のまとめです



境南小、「協議会だより」第1号



新・地域コーディネーター紹介 ②



今年度新たに着任された地域コーディネーター紹介の第3弾です。



【桜野小学校 氏家 順子さん】

子どもたちのワクワクした気持ちを大切に、地域と学校を繋ぐお手伝いができたら良いなと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

【大野田小学校 市川 祐子さん】

一年ぶりに復帰しました。子どもたちの健やかな学びを少しでもサポートできるように地域と繋げていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



第2回地域コーディネーター連絡会の報告

第2回地域コーディネーター連絡会を、9月19日(火)市役所4階会議室で開催しました。

荒井友香指導課長からの挨拶、地域コーディネーターの方からの近況等の共有の後、教育推進室より学校で児童や教職員等の支援に関わっている多様なサポート体制について説明を行いました。「通常の授業やクラスの補助」「部活動」「放課後の学習支援」「学校図書館」「副校長等の支援」「地域人材」「宿泊行事の指導補助」「特別支援教育・不登校等」など、学校には常勤の教職員以外にも様々な分野で多くの人が関わっていることを改めてご理解いただけたかと思います。

武蔵野市では、このように多様な角度から学校教育への人的支援を行っていますが、各学校では実際にその業務についてくださる「人」を探すのに多くの時間を割いている現状があります。地域コーディネーターの皆さんにもお願いしたところですが、この通信をご覧の方も、お知り合い等で学校の支援に関わっていただける方がいましたらぜひご紹介ください。

さて、連絡会の後半は、5～6人グループに分かれて協議を行いました。各学校・地域ごとの課題や成果とともに、共通する内容もありました。以下に概要を記載します。

《学校支援の人材確保》

- 中学校は職場体験の事業所探し以外の学校からの依頼が少なく、地域コーディネーターとしての関わり方が難しい。コーディネーターから中学校に足を運んだり、地域でできることについて先生方と話したりしていきたい。
- 指導課で作成している「学校支援協力者リスト」を、仕事ごとの報酬等の額や資格要件なども加えて一目で分かるようにできるとありがたい。
- 地域のお祭りのボランティアをしてくれた学生に声をかけ、ジャンボリーのサブリーダー、セカンドスクール指導員になってもらうようなことができるのではないかと。地域の顔が見える関係からお願いできると、安心感がある。
- ジャンボリーは、地区によって「学生中心」や「地域の大人やおやじの会、青少協が中心」などいろいろだが、いずれにしても次世代を育てなければならない。セカンドスクールは授業期間の学生も多く、より確保が難しくなっている。指導員としての活動を単位にもらえる大学が探せないか。

《職場体験》

- 職場体験やまち探検などでは、児童・生徒の希望からスタートすると教育効果が高いのではないかと。
- 地域コーディネーターが新規開拓した職場体験の受入先に連絡がないなど、学校との齟齬もあった。

《地域コーディネーターの複数化》

- 相談できる方がいるのはとても良い。
- 地域コーディネーターのうち一人が副校長等事務補助も兼ねているが、学校に勤務する機会が多く副校長・先生方とも近い関係になるので、情報共有ややり取りの頻度などの面でとてもよい。
- 職員室に地域コーディネーターの机やPCがあると、より学校の一員として機能できるのではないかと。
- 先輩地域コーディネーターの活動にどのように関わったらよいか、コーディネーター間の情報共有が大切。

【情報提供】

本通信の第12号でご報告させていただきました「地域とともにある学校づくり推進フォーラム 2023 茨城」のアーカイブ動画が配信されましたので、お知らせいたします。下記 URL や QR コードからご参照いただけます。

資料など <https://manabi-mirai.mext.go.jp/torikumi/chiiki-gakko/r5forum.html>

アーカイブ動画 <https://www.youtube.com/playlist?list=PLGpGsGZ3lmbDoTmvw6PyOo-LU17zpOpMp>

1学期から、指導課教育推進室では各学校の開かれた学校づくり協議会にお邪魔させていただいています。今後も、顔を出させていただくことがあるかと思えます。どうぞよろしくお願ひいたします。



資料など



動画